

第2回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成19年12月25日15時から、秋田商工会議所ホール80において、第2回協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

(議事要旨)

- 場所 秋田商工会議所 7階 ホール80
- 出席者 委員 19名 ・ オブザーバー 4名 ・ 傍聴者 2名
- 案件 秋田市中心市街地活性化基本計画（原案）について
- 結果内容

渡邊靖彦会長が開会挨拶を行った後、議長となり会議を開催した。

秋田市市勢活性化推進本部中川宏行主査より、第1回協議会に提案のあった活性化基本計画（フレーム）と今回の活性化基本計画（原案）との相違点について、「第1回協議会からの変更点」の資料をもとに説明を受けた。次に、秋田市から業務委託を受けたランドブレイン(株)黒川朋広氏より、各委員に事前配布していた「秋田市中心市街地活性化基本計画（原案）」について詳細説明を受けた。

この後、意見交換に移り委員から「千秋公園の位置付けが不明瞭ではないか。中心市街地のシンボルとするならば表現を明確にした方が良いのではないか。」、「中通一丁目地区市街地再開発事業は大変重要な位置付けになっているため、計画が千秋公園と中通一丁目地区と駅周辺地区だけの関係になっているように見られる。その他にも、広小路、仲小路、中央通、通町、大町、川反外町地区があるので、それぞれの地区との連携や回遊性などの大局的な視野が必要ではないか。」、「活性化の評価指標として歩行者・自転車通行量を設定すると言いながら、一方では、トラムでの街区内の移動や、買物ポイント制による駐車場無料利用システムを導入し車での来場を促すとしており、地区の交通移動についてどちらに軸を置いているのかよくわからない。」、「街の力というのは商業集積だけでなく、人がそこに住んで暮らして働いて、文化を積み重ねていくことだと思うが、この計画の中からは出てきていない気がする。」等の意見が出された。

最後に今後のスケジュールについて秋田市から説明があり、当所予定していた平成20年2月申請・年度内認定を平成20年4月下旬申請・6月認定に変更したため、第3回協議会の開催は3月下旬を予定している旨の説明があり閉会した。

以上